

がん治療開始前に 考えておきたいこと

「妊よう性温存療法」について

(受精卵・卵子・精子凍結)

放射線療法やある種の抗がん剤により、
がん克服後に妊娠が困難になることがあります。
特に若いがん患者さんにおいては、
がん治療開始前に受精卵や卵子、精子を
凍結することで、がんを克服した後も
妊娠の可能性を残しておくことができます。
まずはがんを治療することが大前提ですが、
その後の妊娠について不安をお持ちのかたは
ぜひ、主治医へご相談ください。
がんの状態を十分に把握し、
妊よう性温存療法が可能かどうか
相談させていただきます。

琉球大学医学部附属病院 産婦人科

治療

妊娠

相談

※詳細は琉球大学医学部附属病院ホームページをご覧ください。

沖縄がんと生殖医療ネットワーク

事務局：琉球大学医学部附属病院 産婦人科 TEL：098-895-1177